

出前講座報告書

実施日時	2024年8月11日 11:00~12:00	主催者名	東部仲町町会
講師名	佐藤真由美	会場名	弘前市社会福祉センター
テーマ	おくすりのお話		
参加人数	6人	報告者	佐藤 真由美 工藤 由希子

【講座内容】

○お薬手帳について

・常にお薬手帳をもってほしい→お薬手帳を持っていたおかげで救われることもあります。お薬手帳を見ることで持っている病気がわかります。

・毎回同じ薬なのにシールを貼る意味はあるの？→薬剤師はその日付と処方日数から現在薬を飲んでいるか、もう飲んでいないのか判断しています。手帳には何を書いてもOKです。

○薬の種類について

剤形の選択 錠剤→安定性高い、水剤→速く効く、散剤→量を調節できる

○薬の管理方法、飲み方

・おすすめは棚の中や引き出しの中に保管する。おすすめできない保管方法は、すぐ飲めるように1個1個切り離して箱に入れておく方法。薬の数が合わなくなり、シートのまま飲んでしまうケースもあります。

○事例から学ぶおくすりの正しい飲み方

事例①調子がいい時は、薬は減らした方がいいのよね？解説：自己判断は危険です。飲む量・期間を守りましょう。

事例②おじいさんの貼り薬 解説：薬の効果は様々です。他の人に薬はもらってははいけません。

事例③衝撃のすり鉢事件 解説：薬には様々な工夫がされています。薬が飲みづらい場合は薬剤師に相談しましょう。

【質問内容】

・ずっと飲んでいるサプリがありますが、大丈夫でしょうか→問題はないと思いますが、飲み合わせを確認しますので、一度ご相談ください。

・飲み忘れの残薬がある場合、どうすればよいでしょうか→処方時に残薬調整ができますので、ご相談ください。

・亡くなった家族の薬が残っています。どうすればいいですか→麻薬や覚せい剤原料は薬局で回収となります。通常の医薬品廃棄は家庭ゴミでも良いですが、不安でしたら薬局にご持参ください。

<気づいたことや今後の教訓など>

同時刻で別の会場でも講演が開催されていたこともあり、参加者は少なめでしたが熱心に話を聞いて下さっていました。資料には盛り込まなかったのですが、マイナ保険証や選定療養の説明をする時間を確保したらよかったと後日思いました。制度改定があった際には話の中に入れてたいと思います。(記 佐藤 真由美)

